

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日（中間配当を行う場合） （その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日）
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
公告方法	電子公告（当社ホームページに掲載） http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所市場	東京証券取引所 スタンダード市場

（ご注意）

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

環境方針

- ① 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
- ② 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- ③ 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- ④ この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- ⑤ この方針は、社内外全般に公表します。

マルヨシセンターホームページ

健康とおいしさ
マルヨシセンター

株主優待制度のお知らせ
株主様には10,000円分以上のお買物優待券を毎年贈呈!

マルヨシセンターに関する情報は、ホームページでご覧いただけます。
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>



株式会社 マルヨシセンター

MARUYOSHI SUPER REPORT

第66期 報告書

2025年3月1日 ▶ 2026年2月28日

MARUYOSHI CENTER

Top Message

地域の皆さまの食生活を
より豊かに、楽しく、便利にする
ライフスタイル提案型
スーパーマーケットを目指します。



代表取締役会長 CEO
佐竹 克彦



代表取締役社長 COO兼CFO
加藤 宏道

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援をたまわり、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第66期連結会計年度（2025年3月1日から2026年2月28日まで）の事業の概要と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、インバウンド需要や企業の堅調な設備投資等により一部では回復の兆しが見られますが、米国の関税政策による世界情勢への影響など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

個人消費につきましては、消費支出は増加の兆しがあるものの、継続する物価上昇の影響で依然として消費マインドは低調に推移しております。

小売業界におきましても、物価上昇による将来への不安による購買意欲の低下、労働需要の逼迫に伴う人件費関連コストの増加、エネルギー価格の高騰に伴う光熱費や運賃等の経費の増加など、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況の中、当社では、「個店の力／競争力」を引き上げることによる各地域でのシェア拡大を経営戦略とし、その目的達成のために、更なる「マルヨシ

クオリティ」の向上を目指し、これまでの「お客様中心」の接客サービスの強化や「健康とおいしさ」をキーワードとした生鮮商品の差別化、「味Gメン」による味と品質のチェックの施策の継続に加え、お客様が「必要な時に」「必要なものが」「必要な数量」揃う時間帯別売場管理（売場の機能的価値）を基本としたうえで、ビジュアルに優れた売場、こだわり品の提案、POPを使った商品の情報提供やデジタルサイネージを活用した食材のおいしさが伝わる映像や食べ方提案動画の発信を行い、お客様の感情に訴える売場作り（売場の情緒的価値）を打ち出すことで、よりお客様に満足かつ楽しんでいただける店舗作りを進めております。また、各地域や店舗の特性に対応するための経営マネジメント改革として、販売促進を含む営業戦略と経費管理を店長が計画する「店長による店舗経営管理体制」を一部店舗から導入しました。このような施策により、商品力／売場力／接客力の総合的な面で「マルヨシクオリティ」をもう一段階引き上げる取り組みを行っております。これら施策を強力に取り入れた四国戦略の第一号店として三加茂店（徳島県三好郡）を2024年11月に改装オープンし、当初の計画を上回り好調に推移しております。さらに四国戦略を押し進める第二号店

として椿店（愛媛県松山市）を2025年7月4日に改装オープンいたしました。一方で、2025年3月31日に賃貸借契約の満了に伴い片原町店（香川県高松市）を閉店いたしました。

また、製造商品の選択と集中による製造効率の向上および新しい製造機器への投資による生産性の向上の取り組みを継続するとともに、2024年6月より本格稼働となった㈱イズミとのシステム、仕入、物流の統合により、仕入れ原価の低減、効率化によるコスト削減、物流体制の整備を実現し、利益拡大を図るとともにお客様へのサービス品質を高めてまいります。

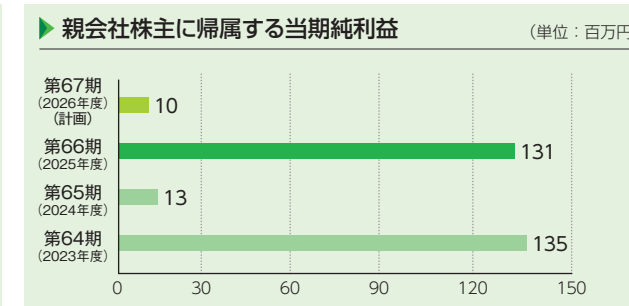
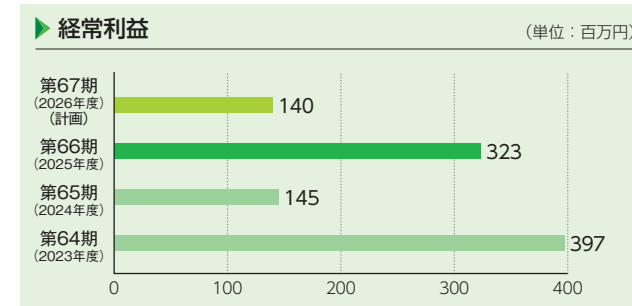
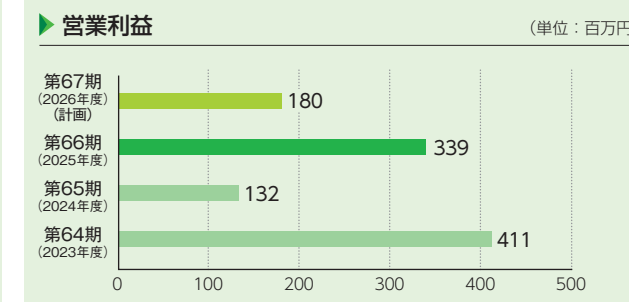
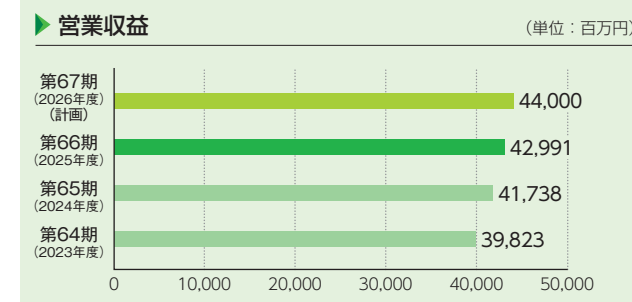
一方、継続する電力料金の高騰への対応として、昨年度に引き続き、計画的な冷蔵庫の入れ替えなど積極的な省エネ投資による電気使用量の削減を進めます。

また、最低賃金の引上げに伴うパート時給のアップや困窮する人員確保を背景とした人件費の増加については、優先順位を強く意識した業務の選択による作業改善、作業シフトの見直しによる必要な人員を必要な時間帯に配置することで生産性の改善を図り、人員不足への対応と一人当たりの荒利高の引上げを目指します。

このような取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は407億54百万円（前期比2.5%増）、営業利益は3億39百万円（前期比155.8%増）、経常利益は3億23百万円（前期比122.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億31百万円（前期比851.7%増）となりました。

2026年5月

財務ハイライト（連結）



■マルヨシクオリティ

何よりも「品質」を重視する「質>量>タイミング>コスト」の考え方を基に商品のクリンリネス、店舗外装・内装等の店舗全体を商品として捉え、その品質の向上に

味と品質へのこだわりにはじまり、接客・ホスピタリティ、売場演出、食品衛生管理、努める取り組み

マルヨシクオリティの商品ラインアップ



オリジナルBOX
小豆島手延べそうめん



オリジナルBOX
レトルトおでん (大・小)



香川・愛媛産
YAMITUKIとまと



魚よしの寿司



ゴロっとたっぷりチーズ



〈国産牛(交雑種)〉
モモ(イチボ)

自社製造品の味と品質を守る「味Gメン」

「自社製造品の味、品質、規格」を専門のプロが調査し、改善を行います。



売場の機能的価値・情緒的価値の追求

機能的価値：スーパーマーケットに求められる機能である「お客様が求められる商品が、求められる時間に、求められる数量ある売場」

情緒的価値：機能的価値を備えたうえに、商品提案、食事シーン提案、ダイナミックな商品陳列、デジタルサイネージの利用等で、お客様が「わくわく、ドキドキ」する売場演出



接客・ホスピタリティ向上への取り組み

当社の最優先課題として、お客様満足度の向上に取り組んでおり、中でも接客力・ホスピタリティ向上の取り組みを強化しています。「お客様にもっと喜んでいただける対応は何か？ 自主的に考え、行動すること」をホスピタリティの行動指針としており、全社一丸となって取り組みを推進しています。

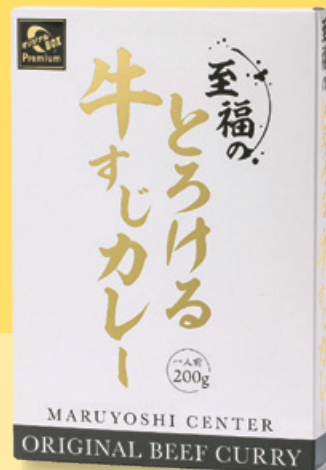


口の中でとろけるやわらかさ



至福のとろける牛すじカレー

じっくりと煮込んだ牛すじは、口の中でとろけるほどのやわらかさで、コクと旨味がカレー全体に溶け込んでいます。



バイヤーセレクト BUYER SELECT

じっくり煮込んだ牛すじが
ほろほろ、とろける贅沢カレー！
その旨み！
レストラン
クオリティ
至福のとろける
牛すじカレー

一番だしとだし醤油が味の決め手

一番だしと醤油の旨み 熟成三元豚ロースカツ重

熟成した三元豚を使ったやわらかいロースとんかつを、一番だしと鎌田のだし醤油と玉子でとじた人気のカツ重です。



鎌田のだし醤油の旨みをプラス！
旨みと香りとコクを味わおう。
一番だしとだし醤油の旨み
熟成三元豚
ロースカツ重



連結財務諸表（要約）

▶ 連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	前期末 (2025年2月28日現在)	当期末 (2026年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	3,070,406	3,442,348
固定資産	13,127,242	13,193,862
有形固定資産	10,883,727	10,807,590
無形固定資産	620,109	589,320
投資その他の資産	1,623,405	1,796,951
繰延資産	1,562	747
資産合計	16,199,211	16,636,958
負債の部		
流動負債	6,611,047	7,718,607
固定負債	6,355,277	5,383,646
負債合計	12,966,325	13,102,254
純資産の部		
株主資本	3,009,713	3,112,824
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	517,745	517,745
利益剰余金	1,414,553	1,517,812
自己株式	△ 584	△ 732
その他の包括利益累計額	△ 12,858	157,512
その他有価証券評価差額金	15,512	193,741
退職給付に係る調整累計額	△ 28,370	△ 36,228
非支配株主持分	236,030	264,365
純資産合計	3,232,885	3,534,703
負債及び純資産合計	16,199,211	16,636,958

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結損益計算書

（単位：千円）

科目	前期 (2024年3月1日から 2025年2月28日まで)	当期 (2025年3月1日から 2026年2月28日まで)
売上高	39,766,797	40,754,887
売上原価	30,440,648	31,331,476
売上総利益	9,326,149	9,423,410
その他営業収入	1,971,716	2,236,832
営業総利益	11,297,865	11,660,243
販売費及び一般管理費	11,165,044	11,320,583
営業利益	132,821	339,660
営業外収益	64,571	45,572
営業外費用	51,510	61,281
経常利益	145,882	323,950
特別利益	19,879	2,556
特別損失	40,827	50,684
税金等調整前当期純利益	124,934	275,822
法人税、住民税及び事業税	73,332	130,796
法人税等調整額	10,446	△ 13,965
当期純利益	41,155	158,992
非支配株主に帰属する 当期純利益	27,358	27,688
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,796	131,304

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	前期 (2024年3月1日から 2025年2月28日まで)	当期 (2025年3月1日から 2026年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,331	2,164,825
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 685,357	△ 404,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 66,857	△ 1,490,811
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 394,884	269,586
現金及び現金同等物の期首残高	1,048,532	653,648
現金及び現金同等物の期末残高	653,648	923,235

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結株主資本等変動計算書（2025年3月1日から2026年2月28日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,077,998	517,745	1,414,553	△ 584	3,009,713	15,512	△ 28,370	△ 12,858	236,030	3,232,885
連結会計年度中の 変動額										
剰余金の配当			△ 28,045		△ 28,045					△ 28,045
親会社株主に帰属 する当期純利益			131,304		131,304					131,304
自己株式の取得				△ 147	△ 147					△ 147
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						178,228	△ 7,857	170,370	28,335	198,706
連結会計年度中の 変動額合計	—	—	103,259	△ 147	103,111	178,228	△ 7,857	170,370	28,335	301,817
当期末残高	1,077,998	517,745	1,517,812	△ 732	3,112,824	193,741	△ 36,228	157,512	264,365	3,534,703

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

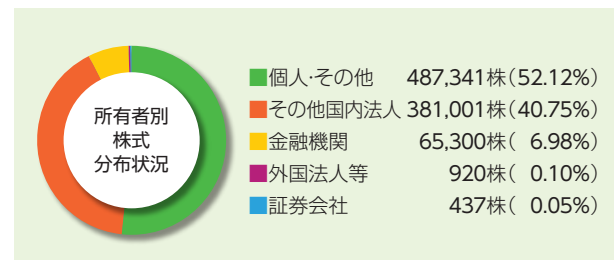
▶ 株式の状況 (2026年2月28日現在)

1) 発行可能株式総数	2,175,000株
2) 発行済株式の総数	934,999株
3) 株主数	1,487名

大株主(上位10名)

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社 イズミ	185,200	19.81
佐竹 睦子	92,500	9.90
マルヨシセンター取引先持株会	81,900	8.76
有限会社 佐竹興産	49,900	5.34
株式会社 百十四銀行	32,300	3.46
株式会社 阿波銀行	31,300	3.35
佐竹 克彦	26,400	2.82
マルヨシセンター従業員持株会	18,739	2.00
ロージー 美佳	17,000	1.82
黒田 真由美	11,400	1.22

(注) 持株比率は自己株式(185株)を控除して計算しております。



▶ 会社概要 (2026年2月28日現在)

社名	株式会社マルヨシセンター
設立	1961年3月
本店の所在地	香川県高松市国分寺町国分367番地1
資本金	1,077,998千円
事業内容	スーパーマーケットおよびレストラン
店舗数	スーパーマーケット34店舗 レストラン1店舗
従業員数	394名 (ほか、パートタイマー1,104名 [8時間換算])

▶ 取締役・監査役 (2026年5月28日現在)

代表取締役会長 C E O	さ 佐 竹 克 彦
代表取締役社長 C O O 兼CFO	か 加 藤 宏 道
取締役副社長 C M O 兼C I O	い 伊 藤 雅 久
取 締 役	た 田 村 つとむ 勉
取 締 役	おお した ひで 秀 樹
常 任 監 査 役	おお にし とし 敏 ひろ 広
監 査 役	かわ 川 ひがし しょう 祥 じ 次
監 査 役	み 三 やけ やす お 夫

(注) 大下秀樹は社外取締役、川東祥次および三宅康夫は社外監査役であります。

▶ 会計監査人 (2026年2月28日現在)

太陽有限責任監査法人

